

子等の手は雪解水のように夢満ちて

春の訪れを感じさせる暖かな日差しを味わえる季節になりました。厳冬もやがて春になると教えられます。保護者、地域の皆様も雪どけの喜びを味わわれていることでしょう。

さて、妹背牛小学校の1年間を振り返り、来年度の抱負を少し語ります。

今年度着任早々、カリキュラム・マネジメントの必要性を叫び続けてきました。そして、現状を把握し、改善策を示し、数値目標を考え、学校改善に取り組んできました。

市販テスト学級平均90点以上、『わたしたちの道徳』を用いた研究会開催、新体カテスト全学年・全種目実施が知・徳・体での主な改善でした。体カテストは全学年で実施しなくてもよいのでは、という保護者の御意見もありましたが、運動会種目だけでは、比較ができません。同じ種目の毎年実施で、体力を比較できます。今年度の数値があれば、来年度も同じ50メートル走で数値を比較できます。更に、新体カテストは全国で実施されているので、全国平均とも比較できます。来年度は「体カカード」を作成し、伸びを称賛します。

『わたしたちの道徳』はよく分からない、と保護者アンケートに少しありました。11月5日に行った道徳の公開授業では、『わたしたちの道徳』を使った授業を全学級公開しました。道教委の指定事業を受けることができた関係で、外部講師に学んだり、道外視察へ派遣できたりしました。多くの保護者は『わたしたちの道徳』に記述してくださっています。読み物教材も入った本なので、春休みに、お子さんとの会話で活用していただきたいです。全児童が持ち帰り、1・3・5年生は来年も使います。(本校の実践をまとめた道徳資料を配付します。希望される方はお立ち寄りください。)

6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査を始め、2月に実施した『全国標準学力検査(NRT)』では、全学年で数値が上がりました。国語は2学年、算数は3学年が前年度を上回り、学校全体としても全国平均以下だった昨年度から大きく伸び、偏差値50を超え、全国平均以上になりました。子供たちの努力、先生方の授業改善、そして、保護者や関係機関の皆様のお蔭様です。学力は未来の切符です。より多くの選択肢を持たせるのが、学校の使命です。来年度は国語研究の3年目でもあり、研究成果をより挙げるため、複数の公開研究会を開催して、多くの先生方に御批評いただきながら謙虚に学び、子供を更に高めます。

4月から更にカリキュラム・マネジメントを推進します。具体的には、『郷土妹背牛』科を創設し、各教科等での学びを活用した郷土学習をさせます。郷土妹背牛を、家族をそして、自分を愛する子供に全員を育てます。

国際社会に貢献した新渡戸稲造氏を育てた北海道大学第2代学長でいらしゃった森源三氏が開拓したここ妹背牛から、世界で活躍する地球市民を輩出したいのが校長としての私の夢です。来年度は更なる御指導・御協力をお願いします。

